

 **WEED MAN** 水田除草機

日本の米づくりを、変える。

株間 の雑草も取れる

業界初 除草機構

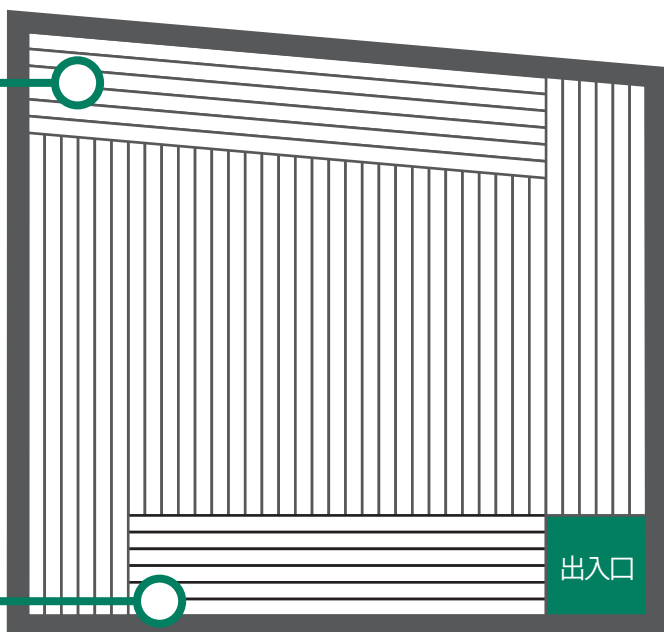


作業の前に ほ場の「給排水マス/ 障害物」「あぜ草」を確認

1-1

POINT
01

ほ場へのあぜ草侵入状況の確認



POINT
02

給排水マス・障害物の有無確認

⚠ 注意

「アシカキ」などの草があぜから侵入している場合は作業前に取り除きます。
そのまま作業するとロータリーに巻き付き破損の原因になります。



あぜ草がほ場へ
侵入している様子



あぜ草やマルチが巻きつき
ロータリーが破損した事例

ほ場への進入の仕方

2-1



初期設定の確認

3-1

POINT

01

レーキ回転

1

POINT

03

作業深さ

0(標準)

POINT
02

油圧感度
(深さ追従速度)

5(標準)





作業のポイント / 深さ追従速度（油圧感度）

4-1

POINT
01

作業機が安定しない
場合はダイヤルを**左へ**



POINT
02

上下追従が遅い
場合はダイヤルを**右へ**



CLICK!



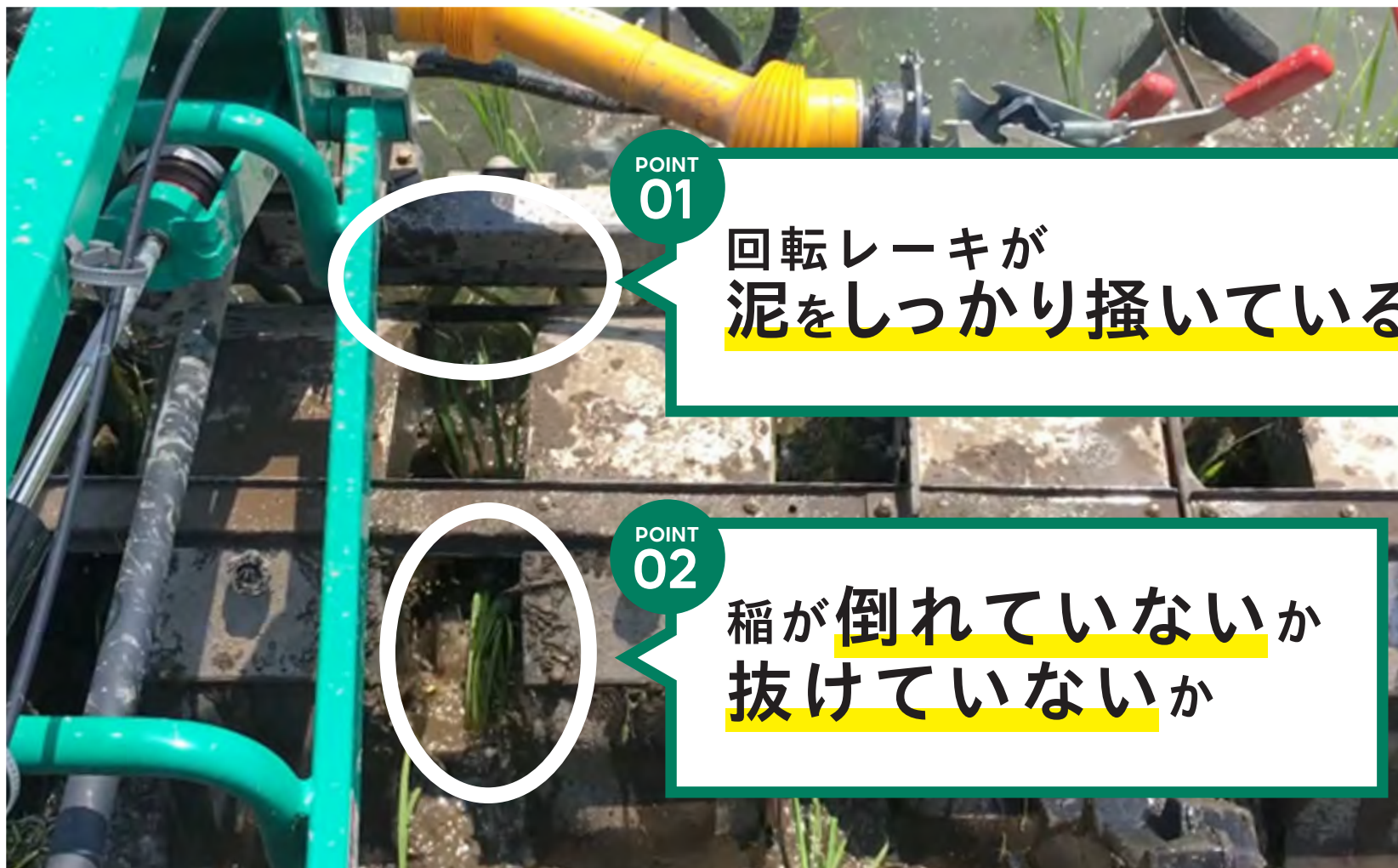
設定による
動作の違い

※油圧感度ダイヤルは標準が基本位置になります。



作業開始 / 株元の確認

6-1



作業深さ調整

7-1

CLICK!



設定による
動作の違い

POINT
01

回転レーキが
泥をしっかりと掻いて稲が立っている
深さに調整する
※ 稲が倒れる・抜ける場合は「浅く」する

回転レーキが泥をしっかりと掻いていることが重要です。

レーキ回転速度調整

8-1



レーキ回転速度調整 / 稲の確認

8-2

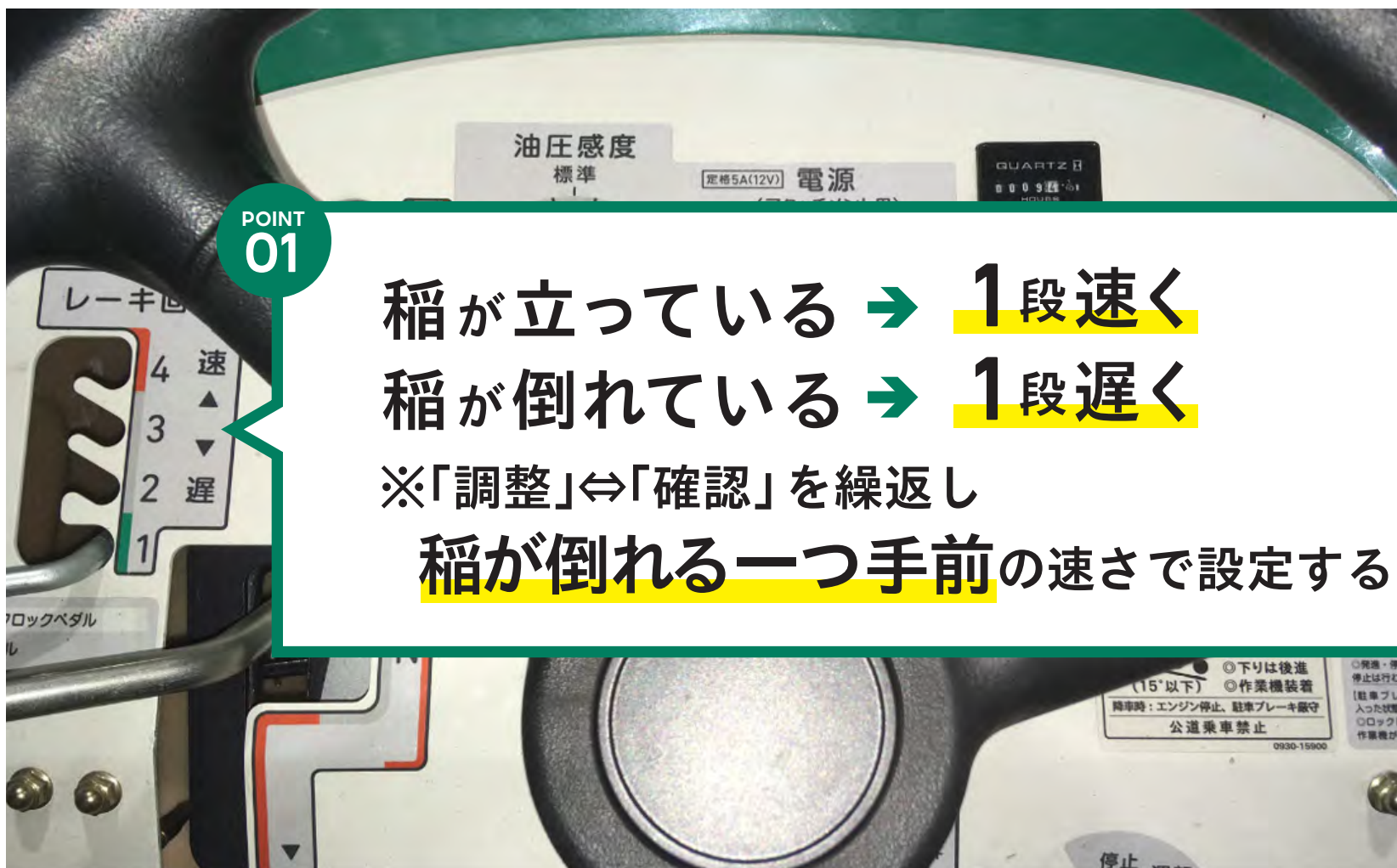


POINT
01

稲が倒れていないか
抜けていないか

レーキ回転速度調整

8-3



POINT
01

稲が立っている → 1段速く

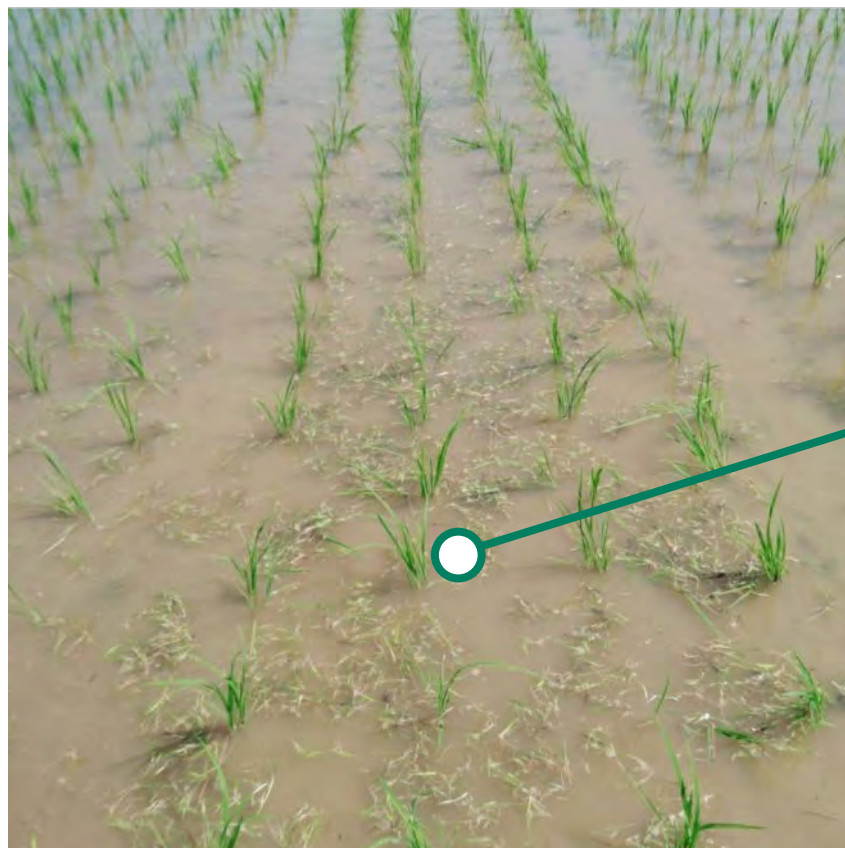
稲が倒れている → 1段遅く

※「調整」⇔「確認」を繰り返す

稲が倒れる一つ手前の速さで設定する

調整後の確認

9-1



POINT
01

各調整後、
降車し直接確認する とより確実です。

POINT
02

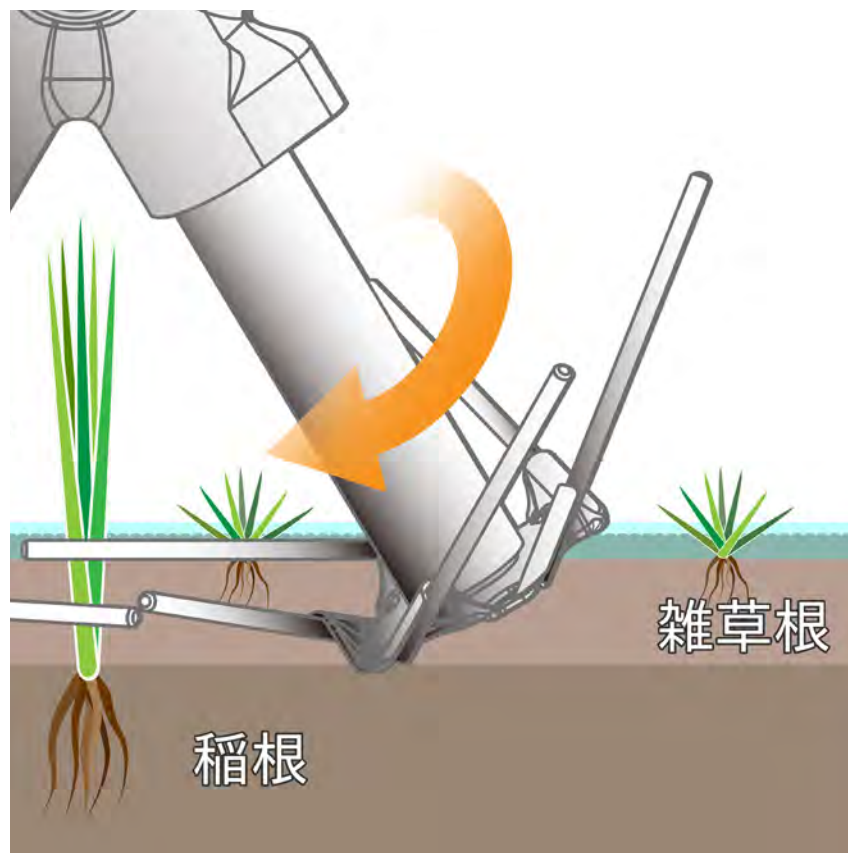
草が浮いていても、
ローター作業部のみ草が取れている場合もあります。
株元もよく確認します。

POINT
03

一枚のほ場でも、場所により土の硬さが異なり条件が
変わる場合もありますので、
状況を見ながら確認する事をお勧めします。

⚠ 注意 降車時は必ず「エンジンを停止」し、「駐車ブレーキ」を掛けて下さい。

除草のポイント/作業深さ(回転レーキ深さ)について 10-1



POINT
01

この範囲が狙う深さです。
深さを合わせる事が重要です。

⚠ 注意 深すぎる場合、草が取れないばかりでなく稲の根を痛める場合があります。

除草のポイント / 作業時の水位について

10-2

POINT
01

◎ **ごく浅い状態**
(泥は水分を含んでいる状態)

- ・ 草が良く見え、調整が容易
- ・ 除草後 稲が水面に張り付きにくい
- ・ **泥は水分を含んでいることが重要**

POINT
02

○ **水位が高い状態**

草が良く見えない為、降車して株元を直接確認し調整することが重要

※降車時は必ず「エンジンを停止」し、「駐車ブレーキ」を掛けて下さい。
思わぬ事故につながります。

POINT
03

△ **乾いた状態**

草が取れにくい

なるべく浅い状態での作業をお勧めします。

除草のポイント/水位がごく浅い状態の作業について 10-3

POINT
01

草が良く見え、調整が容易

POINT
02

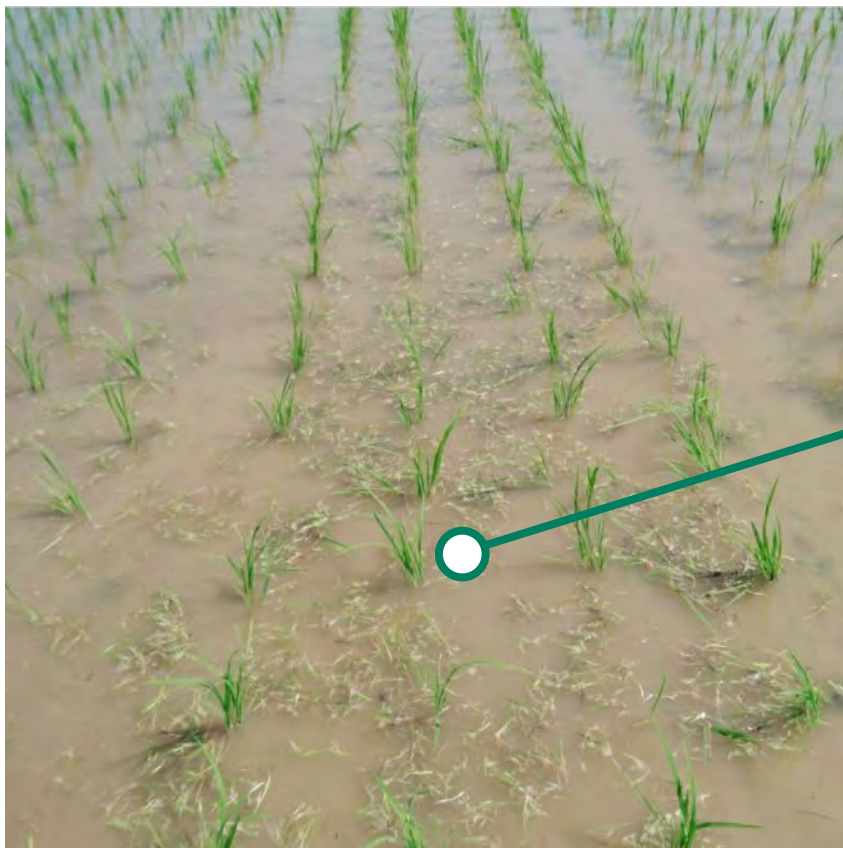
除草後 稲が水面に張り付きにくい

POINT
03

泥は水分を含んでいることが重要



除草のポイント/水位が高い状態の作業について 10-4



POINT
01

草が良く見えない為、降車して株元を直接確認し調整することが重要

POINT
02

草は浮いていても、条間（ローター作業部）のみ取れて、株元の草が取れていない場合があります。

⚠ 注意 降車時は必ず「エンジンを停止」し、「駐車ブレーキ」を掛けて下さい。

POINT
01

草が取れにくい

乾いている為、株元(回転レーキ部)の除草ができない



除草のポイント / 理想的な作業跡

10-6



除草のポイント / 理想的な作業跡

10-7

